



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

電気工事は、電気工事士法に基づき有資格者が行ってください。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲警告

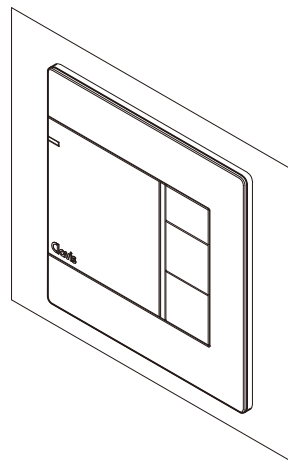


●AC100V用配線は指定の個所に指定の方法通りに差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災や破損のおそれがあります。



●操作電源盤などAC100Vを直接接続する機器の取付けは、ブレーカー(AC100V)を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

●取付け完成図



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

機器の設置上のお願い

- 故障の原因になるため、以下の場所には設置しないでください。
 - ・水や直接湯気がかかる場所、湿気が多い場所
 - ・極端に寒い場所・暑い場所(冷暖房の近くや直射日光の当たる場所)
 - ・防犯性を確保するため、ガラス窓から近い場所には設置しないでください。
- ハンドルセットに同梱の配線は10mで、継ぎ足す延長はできません。不足の場合は、15m、20mの配線を別途手配してください。
- 避雷器(市販品)の設置をおすすめします。避雷器によって雷サージから機器を保護することができ、トラブルを未然に防ぐことができます。

No.	チェック内容	
1	AC100V配線を抜け止めコンセントへしっかり差し込みましたか？	<input type="checkbox"/>
2	ACアダプターを抜け止めコンセントへしっかり差し込みましたか？	<input type="checkbox"/>
3	ハンドルとのペアリング・作動確認をしましたか？	<input type="checkbox"/>

■部品・部材の明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

操作電源盤セット		
操作電源盤本体		1
操作電源盤カバー		1
操作JEM-A ハーネス		2

別途手配品(ハンドルセット同梱)		
ACアダプター		1
抜け止めコンセント		1
ブラケット		1

※Clavis、クラビスおよびClavisロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。

※Tebrā、テブラおよびTebrāロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。

■作業工程

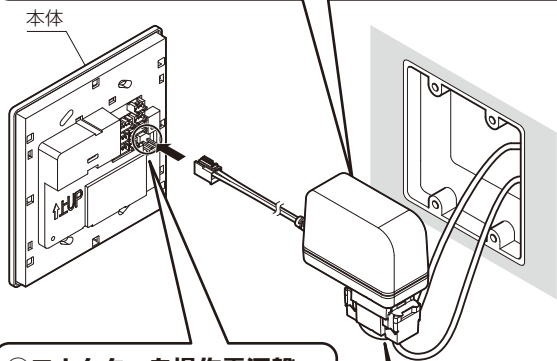
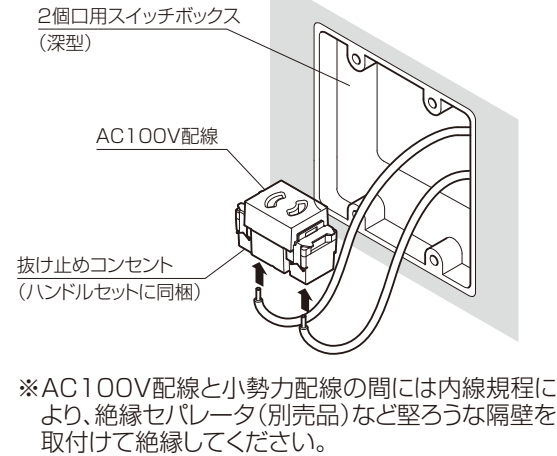
全工程電気工事士区分の作業になります。

工程	参照ページ	詳細
1 結線	P.3	
2 操作電源盤本体の取付け	P.3	
3 操作電源盤カバーの取付け	P.4	
4 コンセントの固定 (ACアダプターが壁面内にぶら下がる場合)	P.4	
5 JEM-A 標準端子の接続	P.5	
6 接続例	P.6	
7 システム配線図 (オプション品)	P.7	
8 ペアリングの事前確認	P.8	
9 ペアリング作業	P.9	
10 7セグ表示一覧	P.10	
11 作動確認	P.11	
12 認証キーの抹消方法	P.12	

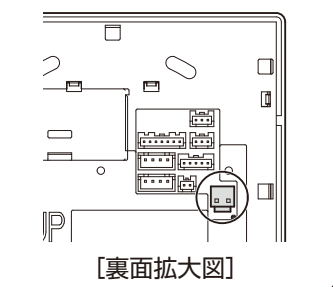
1 結線

- ① AC100V配線を抜け止めコンセントに差し込みます。
- ② ACアダプターを抜け止めコンセントに差し込み、回して固定します。
- ③ ACアダプターのコネクターを操作電源盤本体の裏面へ差し込みます。

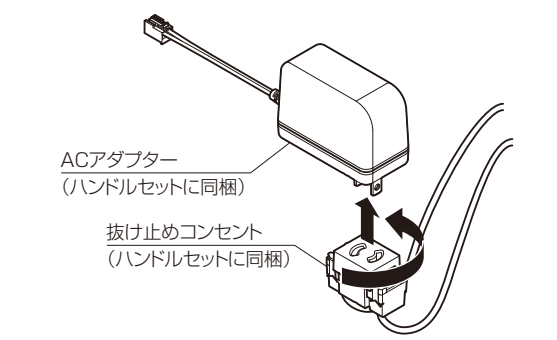
① AC100V配線と抜け止めコンセントの差し込み



③ コネクターを操作電源盤本体の裏面へ差し込む



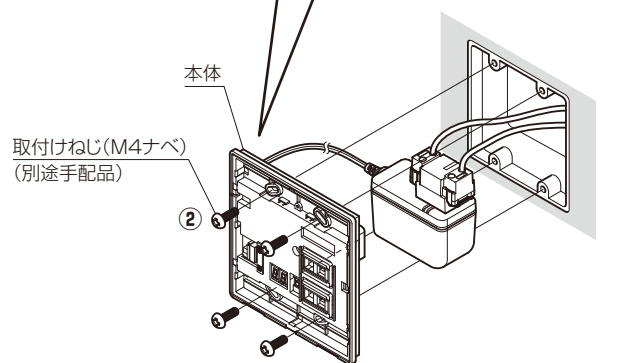
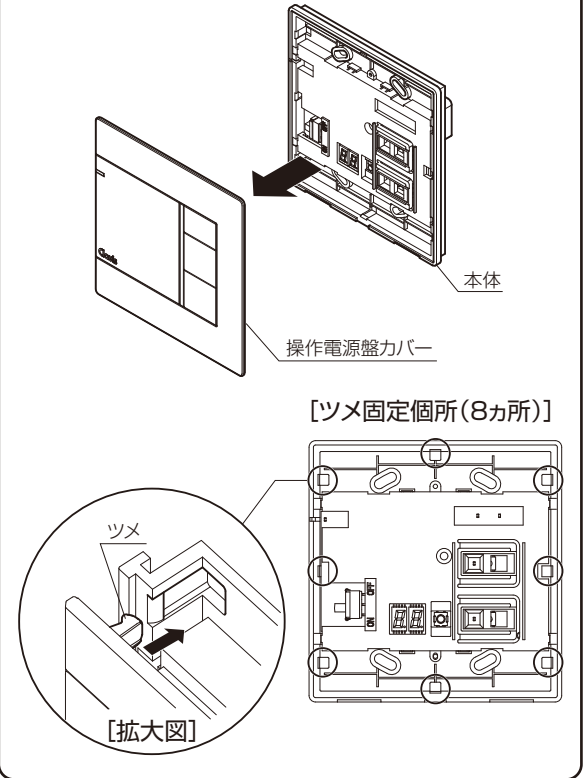
② ACアダプターを抜け止めコンセントに差し込む



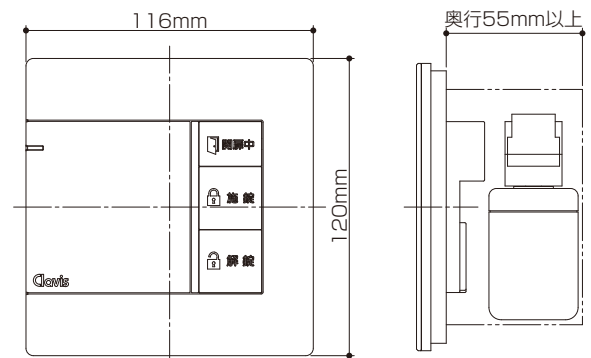
2 操作電源盤本体の取付け

- ① 操作電源盤本体をねじ固定するため、操作電源盤カバーを外します。(下部のカバーと本体の間にコインなどを引っ掛けて外します)
- ② ACアダプター・配線類をスイッチボックスに入れ、操作電源盤本体をねじで取付けます。

① 操作電源カバーの取外し

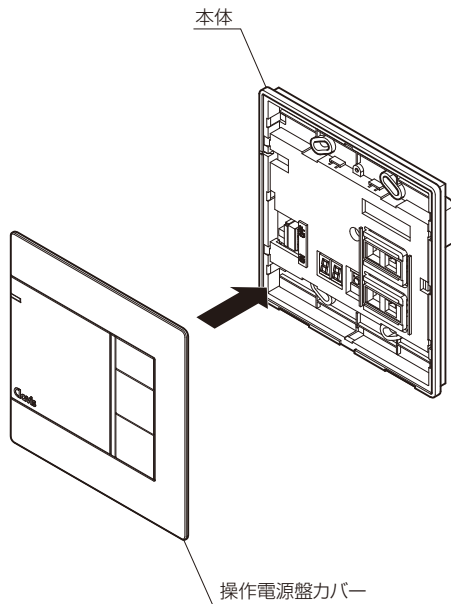


■ 操作電源盤詳細寸法



3 操作電源盤カバーの取付け

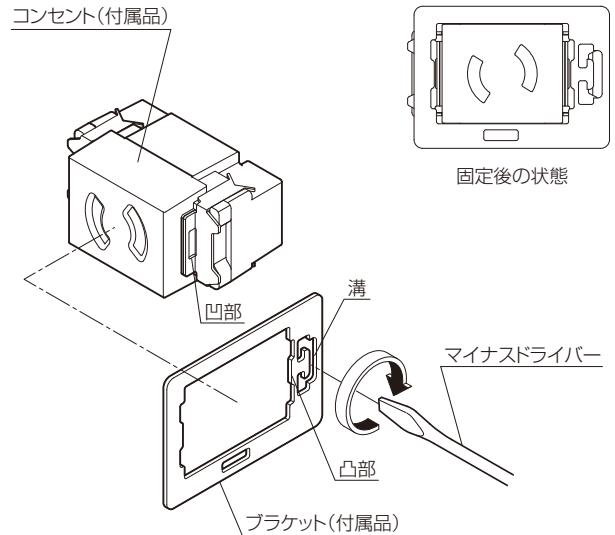
①操作電源カバーを本体に取付けます。



4 コンセントの固定 (ACアダプターおよび抜け止めコンセントが 壁面内にぶら下がる場合)

①コンセントとブラケットの固定

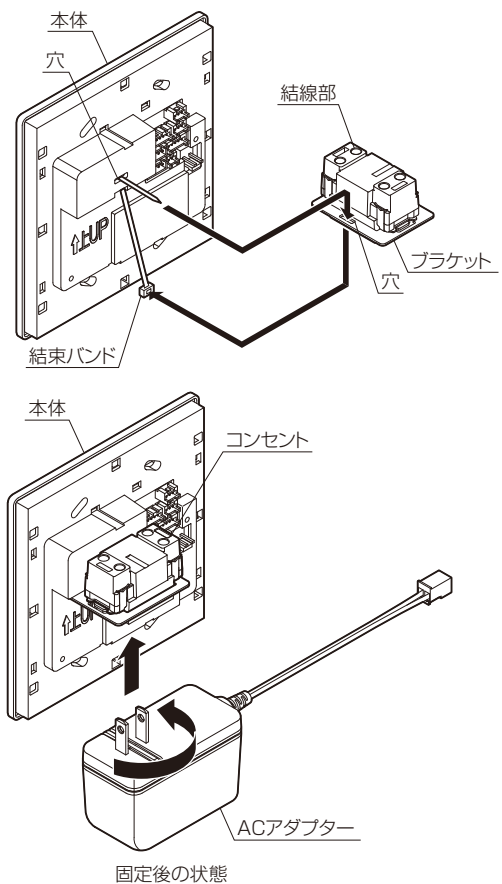
コンセントをブラケットに差し込んでください。
マイナスドライバーをブラケットの溝に挿入した状態でこじ
る様に回転させ、ブラケットの凸部に差し込んでください。



②ブラケットと本体の固定

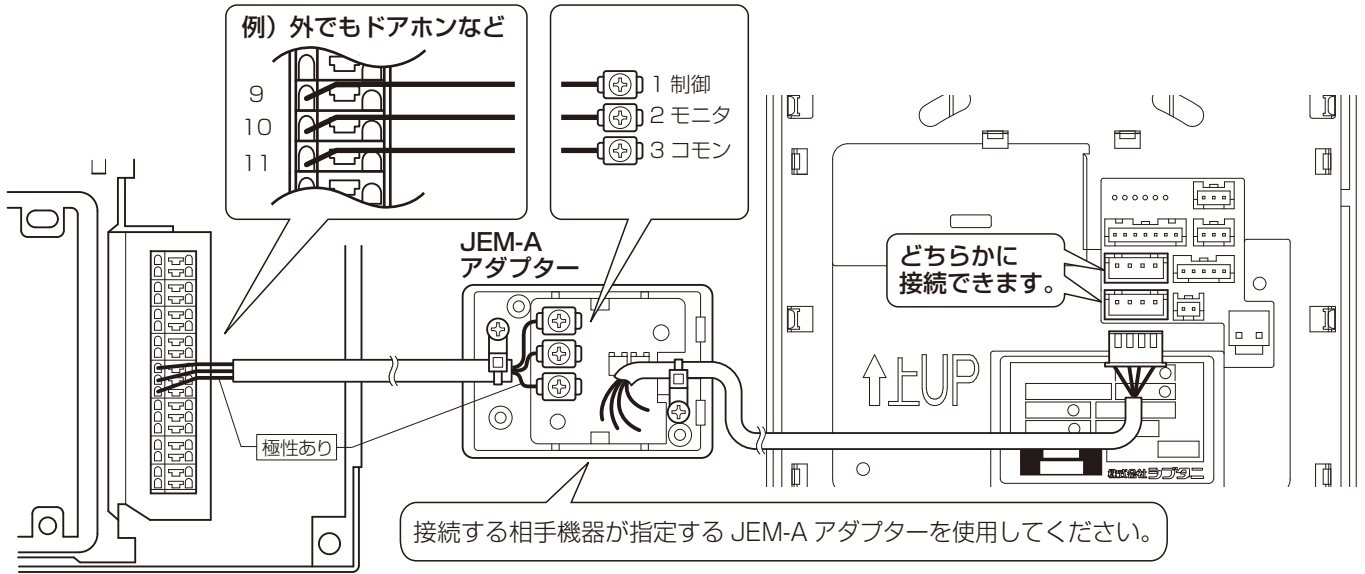
本体裏面の穴とブラケットの穴に結束バンドを通して固定
してください。

※図のように結線部が上向きになるように固定すると壁面内
でコンパクトに納まります。



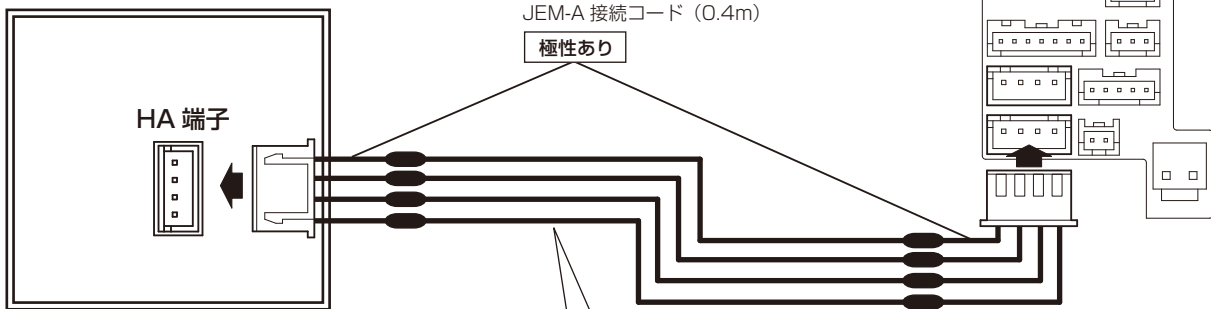
5 JEM-A標準端子の接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する

JEM-A 標準 HA 対応機器

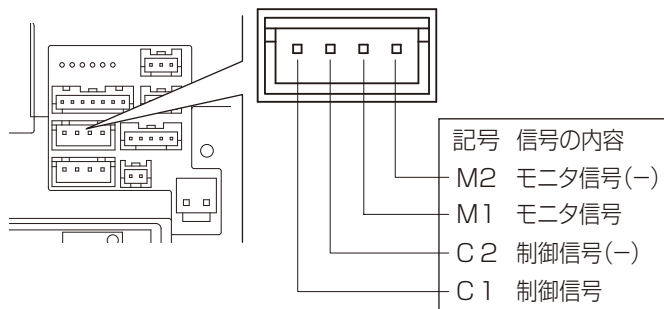


- ・付属の JEM-A 接続コードは 0.4m です。届かない場合は、別の配線ケーブルを使い、延長してください。
- ・中間接続箇所は配線の色が合うようにつなげてください。極性があるため、間違えると作動しません。
- ・延長可能な長さについては各機器のメーカーにお問合せください。

■JEM-A標準HA端子について

操作電源盤はHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠／施錠の遠隔操作を行うことができます。

操作電源盤のHA端子について



●モニタ信号

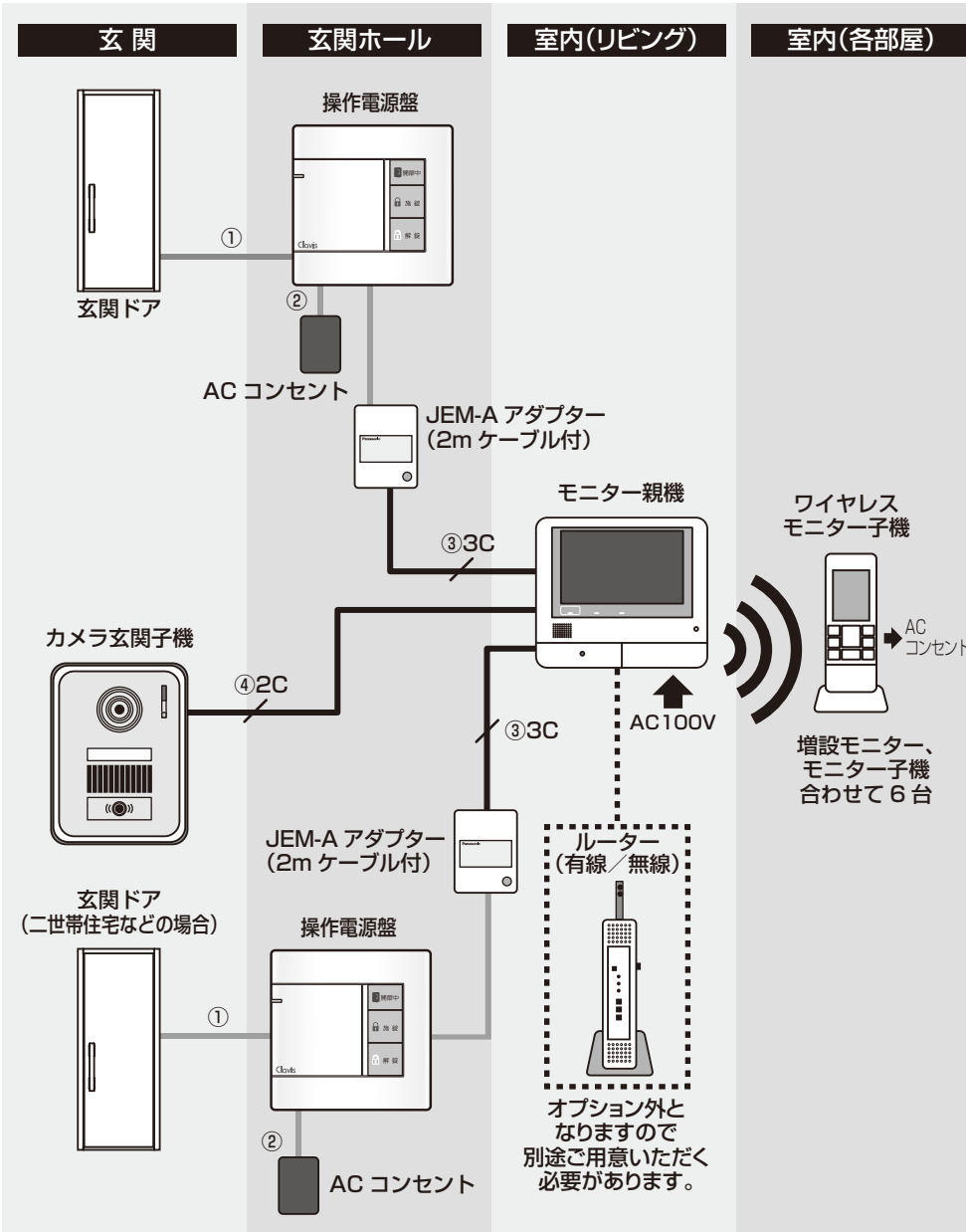
- ・施錠時 M1 端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
- ・解錠時 M1 端子がLow(M1-M2端子間に0V)

●制御信号

- ・C1-C2端子間に0.2~0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作

※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

6 接続例



- [—] の配線コードは、付属品です。
- [—] の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※操作電源盤には掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。

【同梱品】躯体内配線コード

項	接続先	配線長
①	操作電源盤～ドア	10m (別途手配品 15・20m※1)
②	操作電源盤～ACアダプター	0.15m

※1)初期同梱の10mでは足りない場合は、別途15・20mを手配ください。

【現場手配品】

項	接続先	単芯線 (φ0.65～φ0.9)の 接続可能距離(※2)
③	JEM-Aアダプター～モニター親機※3	50m
④	モニター親機～玄関子機※3	100m

※2)接続できる単芯線の最大長さです。上記の範囲内での手配をお願いいたします。

※3)単芯線(φ0.2以上を使用すること)

■取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材(※1)
操作電源盤	JIS 2コ用スイッチボックス(深型) (※2)
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3) (※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※配線ケーブルは、「システム配線図」も参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※1)各機器の取付けには、上記取付け用部材の内、いずれか1つが必要になります。取付け用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用しなくとも直付け可能な機器もあります。)

※2)取付けの壁面より、奥行きは55mm以上必要になります。

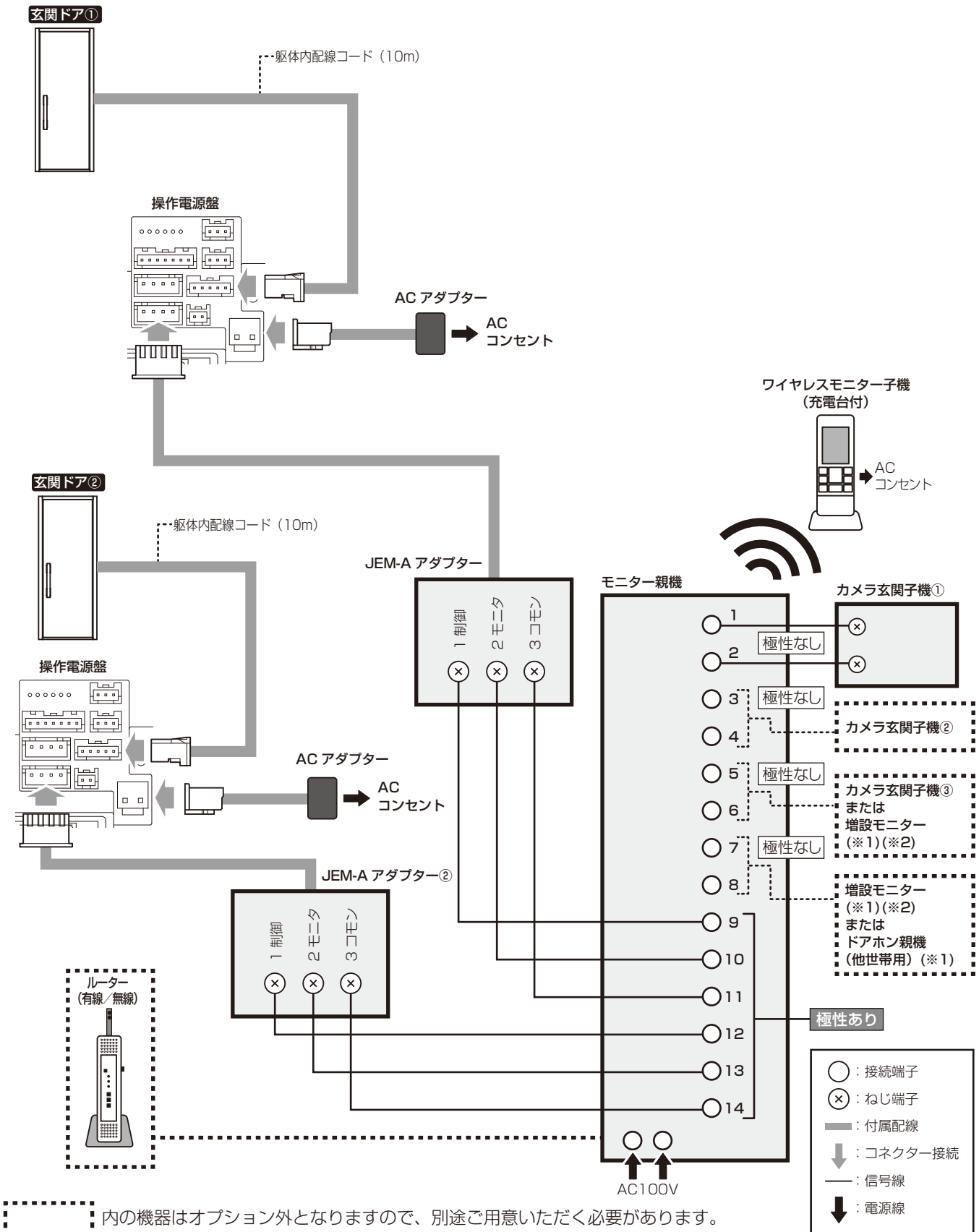
※3)スイッチボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。

※4)木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付ねじで直付け可能です。

※外でもドアホンの施工や追加機器については、外でもドアホン同梱の取扱説明書・施工説明書をご確認ください。合わせてパナソニック社のホームページを参照ください。(右記2次元コード参照)



7 システム配線図 (オプション品)



内の機器はオプション外となりますので、別途ご用意いただく必要があります。

※1) カメラ玄関子機を3台接続した場合、増設モニターとドアホン親機（他世帯用）はどちらか一方しか接続できません。

※2) 増設モニターは1台まで、ワイヤレスモニター子機と合わせ6台までとなります。

詳しくは「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

8 ペアリングの事前確認

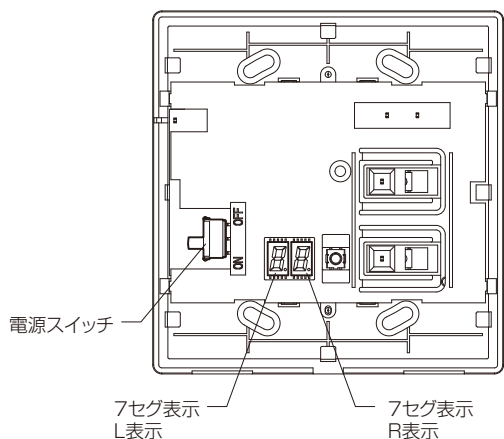
■ ペアリングとは

顔認証システム(ハンドル一体型)の通信ライン上に不正な機器が接続された際の“なりすまし”による解錠操作に対する防御策として、ペアリング操作をおこないます。

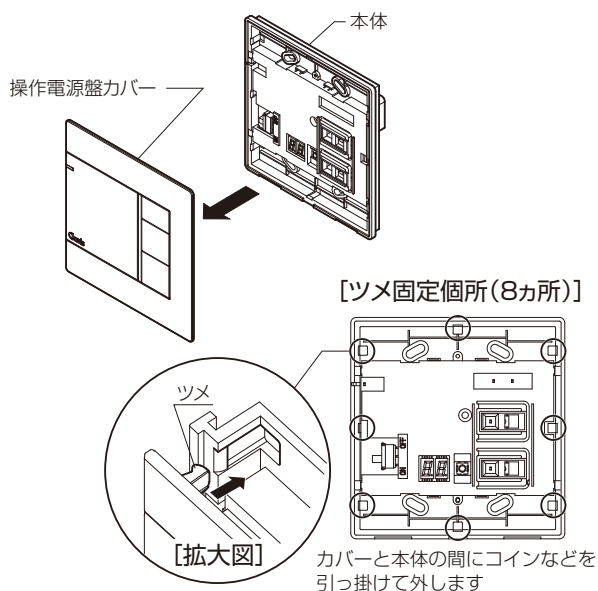
ペアリング操作によって通信できる機器を限定させることで、不正接続機器からの施解錠操作や設定変更などを受けません。

■ ペアリング状態の確認

本作業では室内外ハンドル、操作電源盤のペアリング状態の確認を行います。ペアリングされている機器の接続状態は、電気錠起動後に、操作電源盤の7セグ表示で確認することが可能です。



■ 起動時のペアリング接続確認方法



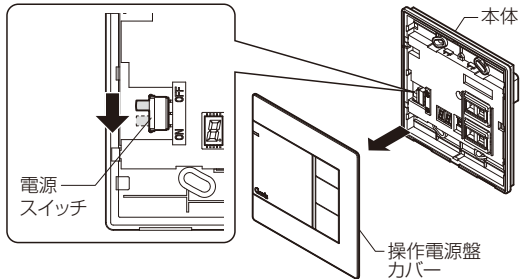
- ① 操作電源盤/電源盤のフロントカバーを外し、電源スイッチをONにします。
- ② 7セグ表示を確認します。
電気錠と操作電源盤の通信を確認するために(8,8)が表示されます。(2秒間)
 1. 電気錠のファームウェアバージョンが表示されます。(2秒間)
 2. 接続状態機器が1秒毎、機器番号毎に表示されます。
※7セグの表示内容の一覧はP.10を確認ください。
 3. 一連の表示完了後、7セグの表示が消灯します。

9 ペアリング作業

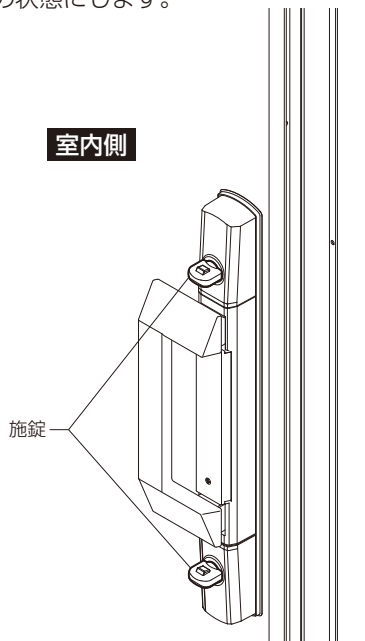
■ペアリング方法

※扉を閉めた状態で実施してください。

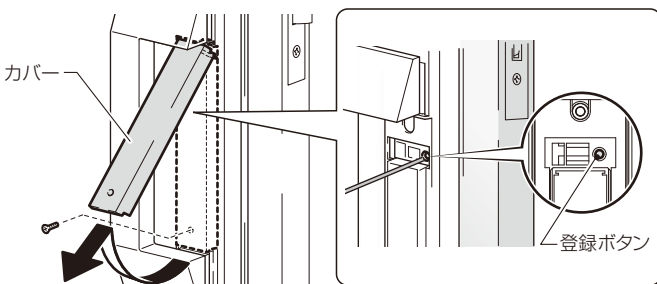
- ①操作電源盤のフロントカバーを外し、電源スイッチをONにします。



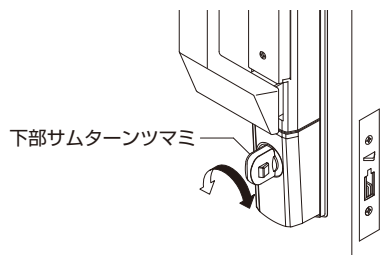
- ②ロックを両施錠の状態にします。



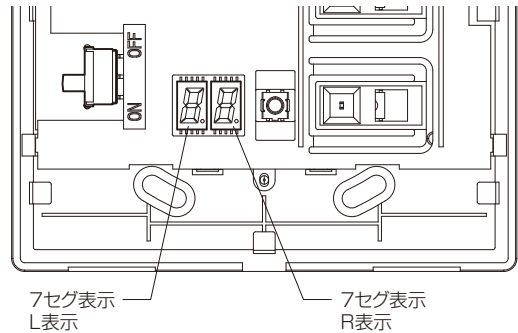
- ③室内側ハンドルのカバーを外します。
④登録ボタンを先のとがっていない細いもので長押し(2秒以上)します。



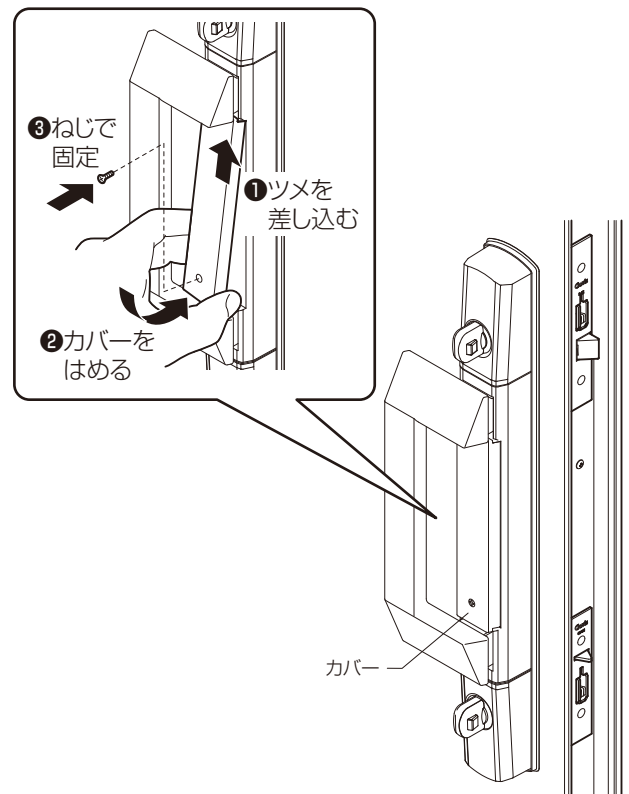
- ⑤下部サムターンを、(施錠⇒)解錠⇒施錠となるよう操作します。



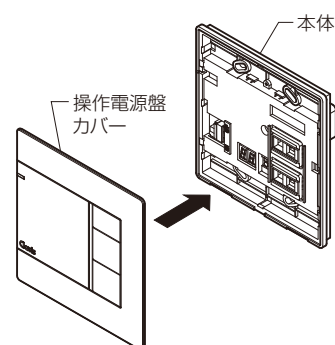
- ⑥操作電源盤上の7セグ表示に、接続状態が、1秒ごとに順次表示されます。
(L,R)が(5,1)→(7,3)→(8,1)となればペアリングが成立しています。



- ⑦室内側ハンドルのカバーを取付けます。



- ⑧操作電源盤のフロントカバーを取付けます。
以上でペアリング作業は完了です。



10 7セグ表示一覧

下表は7セグに表示される内容です。ペアリングでお困りの際はこちらをご確認ください。

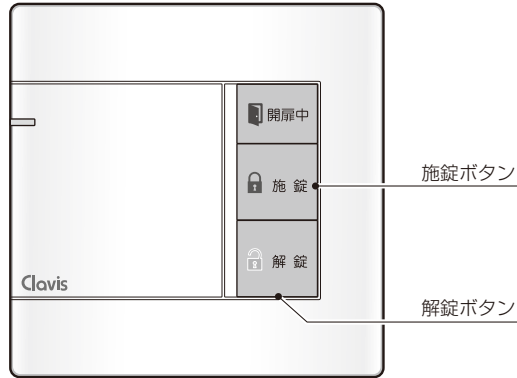
表示内容(L,R)	エラー内容	対処方法
(5,1)→(7,3)→(8,1)	無し。正しく接続、ペアリングができています。	なし
(5,1)→(7,3)→(8,2)	正しく接続できているが、室内ハンドルと室外ハンドルはペアリングできていない。	認証キーの登録情報を抹消を行った後に、ペアリング作業を行ってください。(認証キーの抹消方法は12ページを参照ください)
(5,1)→(7,3)→(8,3)	室内ハンドルと操作電源盤はペアリング出来ているが、室内ハンドルと室外ハンドルは接続できていない。	室外ハンドルのコネクタが正しく接続されているかを確認し、ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,1)	正しく接続できているが、室内ハンドルと操作電源盤がペアリングできていない。	ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,2)	正しく接続できているが、室内ハンドルと操作電源盤、室外ハンドルがペアリングできていない。	ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,3)	室内ハンドルと操作電源盤がペアリングできていない。室内ハンドルと室外ハンドルは接続できていない。	室外ハンドルのコネクタが正しく接続されているかを確認し、ペアリング作業を行ってください。
(8,8)のままかわらない	室内ハンドルと通信できていない。	室内ハンドル～操作電源盤のコネクタが正しく接続されているかを確認ください。

動作確認

下記二つの方法で確認ください。

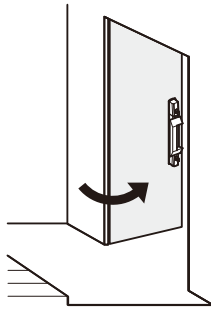
■ペアリング確認

操作電源盤の施錠・解錠ボタンを押し、扉が施解錠できるかを確認してください。

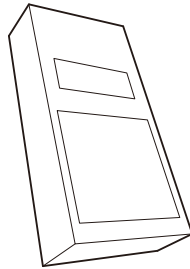


■認証部確認

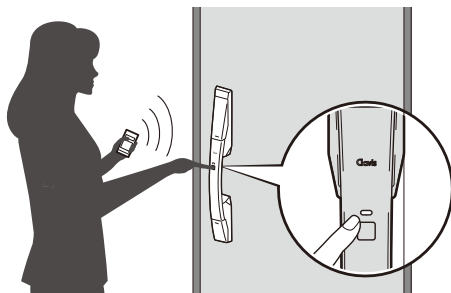
①ドアを開けます。



②同梱の未登録Tebraキーを準備してください。

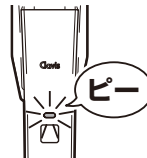


③Tebraキーをハンドルから80cmのところを持ち、ドアのタッチボタンを押します。



状態

"ピーピー"とブザーが鳴り、LEDが赤色に三回点滅する。



何も起こらない

結果

正常です。
操作盤の電源スイッチをOFFにしてください。

異常です。
操作盤のペアリングを再度確認ください。

12 認証キーの抹消方法

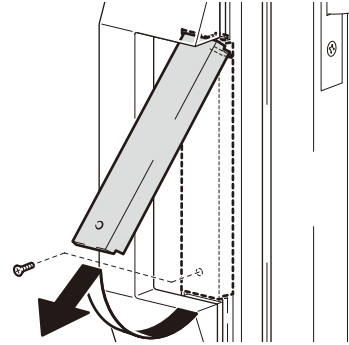
①以下の物をお手元にご用意ください。

認証キーの抹消後、速やかに再登録を行うため必要になります。

- 今までお使いの認証キー
- 新規で登録したい認証キー

②室内側からハンドルカバーをを外します。

ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。

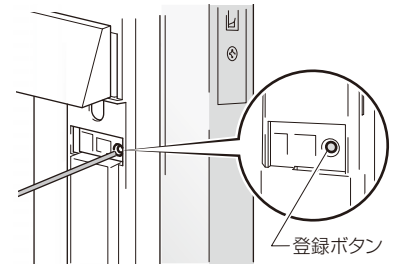


③ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

④制御部の登録ボタンを2秒以上押し続け、登録・抹消モードにします。

- ・先のとがっていない細いものでやさしく押ししてください。
- ・登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- ・登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。

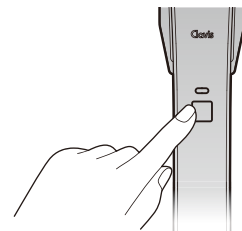


作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)	ピッ
登録・抹消モード中	赤色点滅	—

⑤リーダ部のタッチボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ” とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。
すべての情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、情報が抹消されません)

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピピッ



⑥制御部の登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・“ピッ” とブザーが鳴り、登録・抹消モードが終了します。
- ・15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

※抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。
すぐに再登録を行ってください。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード終了	—	ピッ

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO
